



シームレスライン照明器具 / 薄型 (PWM方式調光型)

SAL-K FM

(100/200V, 50/60Hz共用)

取扱説明書

保存用

12年11月09







お買い上げありがとうございました。ご使用前に必ずお読みください。
取付工事は、必ず電気工事店へご依頼ください。

この説明書は取付工事が終わりましたら器具をご使用になるお客様に必ずお渡しください。

本社・営業本部 / 東京都品川区西五反田 1-13-5 : 03-3492-4460
札幌営業所 : 011-824-5051 名古屋営業所 : 052-322-2861 大阪営業所 : 06-6338-1081 福岡営業所 : 092-471-8075





安全上の注意

警告

-  ● 器具の分解、改造は絶対にしないでください。火災や感電の原因となります。
-  ● 不安定な場所では使用しないでください。器具の転倒や落下により漏電やケガの原因となります。
● 紙や布や断熱材などで覆ったり、燃えやすいものに近づけないでください。器具の故障や火災の原因となります。
● 器具に内蔵されている電子部品には、絶対に触れないでください。感電の原因となります。
● 器具の隙間に、金属類や燃えやすいものを差し込まないでください。感電、火災の原因となります。
● 器具を造営材などへ埋め込んで使用しないでください。放熱が悪くなり、故障、火災の原因となります。
-  ● 取付工事やランプ交換や清掃のときは、必ず電源を切ってください。火災や感電の原因となります。
-  ● 万一、煙がでたり、変な臭いがあるなどの異常状態が発生した場合はすぐに電源を切ってください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。
また、異常状態がおさまったことを確認してから工事店、電器店に修理を依頼してください。
-  ● 取付工事は、取扱説明書にしたがって確実にこなしてください。火災、感電、落下、ケガの原因となります。
● 器具の取り付けは、器具質量に耐えるところに取扱説明書にしたがって確実にこなしてください。取り付けに不備があると落下し、感電、ケガの原因となります。
● 電源を接続する際は、取扱説明書にしたがって確実にこなしてください。接続が不完全ですと、接触不良により火災の原因となります。
-  ● アース工事は、電気設備技術基準にしたがって確実にこなしてください。アースが不完全ですと感電の原因となります。

注意

- 専用ランプ以外は使用しないでください。
- 電源電圧は、AC100V±6VまたはAC200V±20V以内で使用してください。電源電圧が低いとランプ短寿命やチラツキの原因となり、高いと電子部品が過熱し発煙、発火の原因となることがあります。
- 屋内用器具ですので、屋外では使用しないでください。屋外で使用すると感電、火災の原因となることがあります。
- 引火する危険性の雰囲気（ガスボンベ・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・粉塵など）で使用しないでください。火災や爆発の原因となります。
- 雨や水滴のかかる状態や湿度の高いところでは使用しないでください。故障や漏電、破損の原因となることがあります。
- 酸などの腐食性雰囲気のところでは使用しないでください。故障や漏電、落下の原因となることがあります。
- 振動や衝撃の激しいところでは使用しないでください。落下によるケガや接触不良により、発煙、発火の原因となることがあります。
- 粉塵の多いところでは使用しないでください。発煙、発火の原因となることがあります。
- 器具を被照射物に近接した位置に取り付けしないでください。被照射物(面)が退色する場合があります。
- ランプ取付け、取外しの際は、ランプ両端の口金部分を持っておこなってください。破損しケガの原因となることがあります。
- 5kg以上の荷重をかけないでください。器具の故障や落下の原因となることがあります。
- ランプ取付時は、ランプ口金の黒線がソケット羽部に納まる位置まで確実にランプを差し込んでください。ランプの落下や接触不良により、ケガや過熱、発煙の原因となることがあります。

	完全装着状態		不完全装着状態	
装着図				
ランプ装着状態	正常	挿入不足	挿入不足	片側挿入
ランプ点灯状態	点灯	不点灯	点灯	点灯

- ランプを装着した状態は、ランプの両端を持っておこなってください。ランプ中央部を持ってソケットを可動させるとランプが破損しケガの原因となることがあります。
- ランプに物をつぶしたり、荷重をかけたり、無理な力を加えたり、キズをつけたりしないでください。ランプの破損や落下によりケガの原因となることがあります。
- ランプに塗料などを塗らないでください。ランプが過熱し、破損の原因となることがあります。
- 口金のピンが曲がったり、折れたりしたランプは使用しないでください。また、ピンの切断もしないでください。接触不良による過熱、発煙の原因となることがあります。
- 点灯中や消灯直後は、ランプが熱いので手や肌などを触れないでください。ヤケドの原因となることがあります。
- 使用済のランプは割らずに廃棄してください。ランプを割るとガラス破片が飛散し、ケガの原因となることがあります。

ご使用上の注意

- 器具の取付工事は必ず電気工事店に依頼してください。
- 推奨調光器を必ず使用してください。
- 器具を並列に取り付ける場合は、器具間隔を50mm以上離してください。ランプがチラツいたり、熱干渉によりランプの光束が落ちたり、安定器やランプの短寿命の原因となることがあります。
- 接続する電線は、電源ケーブルにはVVVF 1.6またはφ2.0を使用し、調光信号線にはCPEV線φ0.9×1ペアまたはφ1.2×1ペアを総配線長100m以内で使用してください。
- 器具間の電源・信号送りをする場合は、取扱説明書にしたがって、電源電圧AC100Vで使用の場合は最大25灯以内、電源電圧AC200Vで使用の場合は最大50灯以内とし、他の器具は接続しないでください。(インバータイコン使用時) SAL-K550FMは電源・信号送りはできません。
- 周囲温度は5℃~35℃の範囲で使用してください。周囲温度が低温または高温の場合、ランプ不点灯やチラツキの原因となることがあります。
- 器具清掃の際は、シンナーやベンジンなどの溶剤は使用しないでください。水または中性洗剤を湿した柔らかい布でよく絞ってから拭いてください。
- 照明器具は若干のうなり(音)が生じます。特に静かな環境が要求される場所(録音スタジオや寝室等)への取り付けの際は、うなり(音)を考慮して設置してください。
- 器具の近くで赤外線リモコン機器を使用しないでください。リモコン機器が正常に動作しないことがあります。
- 回路の特性上、スイッチをONしたら約50%の明るさになり、その後、調光設定レベルの明るさに落ち着きます。
- 調光下限レベルにはバラツキを生じたり、ランプにチラツキが発生する場合があります。
- 電源波形の歪みや変動があるときはランプにチラツキが発生する場合があります。
- 点灯および消灯直後にランプからの熱による金属の膨張収縮で、きしみ音が照明器具より発生する場合がありますが、安全上に問題ありません。
- 初めて点灯したとき、ランプの電極付近が黒くなることがありますが、しばらく点灯しておくことで消えます。
- ランプ寿命末期の場合は、調光下限レベルで点滅を繰り返すことがあります。その場合はランプ交換をお願いします。
- 強い風が当たる場所は避けてください。風の当たる部分は、黒化や斑点現象が発生しやすくなります。また、エアコンの風など冷風が直接あたるとチラツキの原因となることがあります。
- 点滅を頻繁に繰り返す場合は、ランプ寿命が短くなります。
- 寿命になったランプは、早めに交換してください。
- ワイヤホルダーを必ずご使用ください。
- 漏電遮断器の種類によって電子安定器からの高周波の漏洩電流の影響により漏電遮断器が動作する場合がございます。この場合には高周波対応型漏電遮断器をご使用ください。

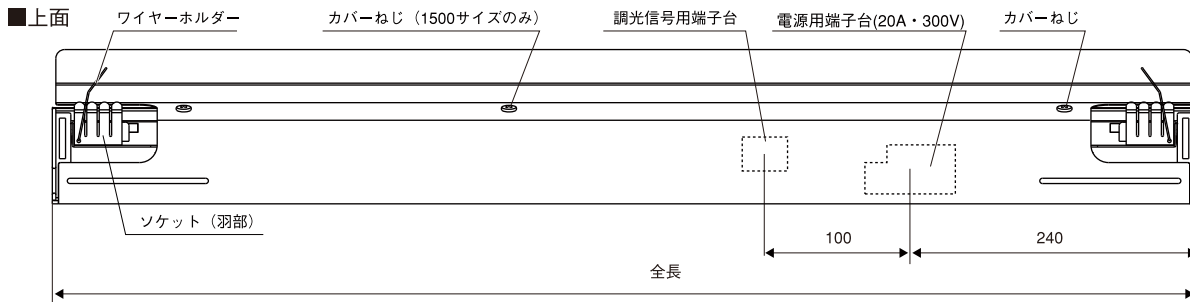
定格

(仕様と定格は予告なく変更することがあります。)

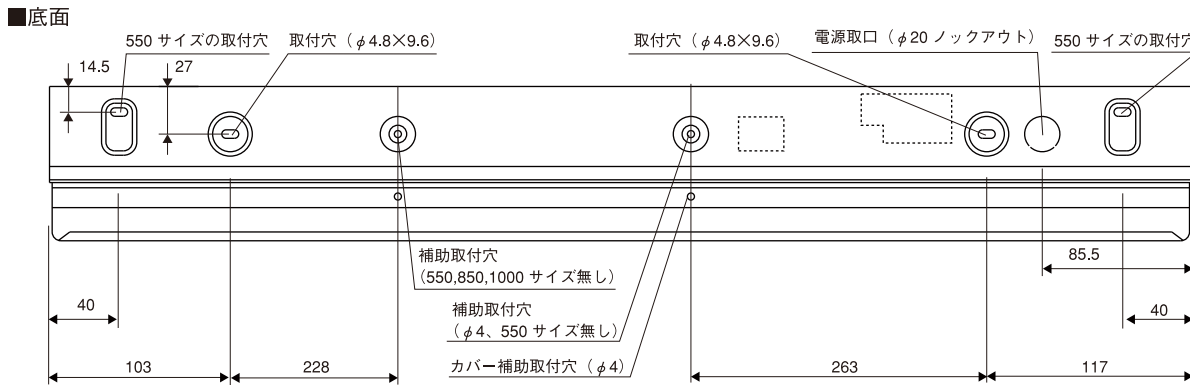
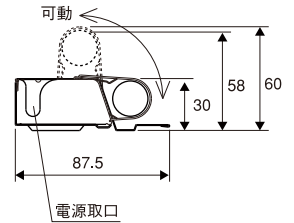
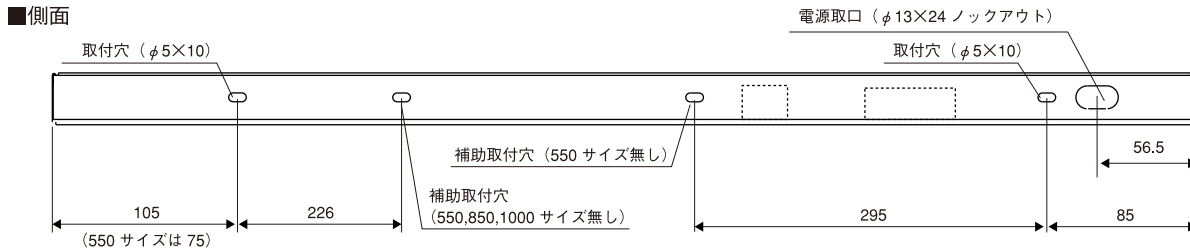
形式	適合ランプ	灯数	全長 (mm)	本体質量 (kg)	入力電圧 (V)	入力電流 (A)	入力電力 (W)	ランプ電力 (W)	力率
SAL-K 550FM	FRT 550	1	550	0.90	100/200	0.23/0.11	22	17	高
SAL-K 850FM	FRT 850	1	850	1.10	100/200	0.32/0.16	32	25	高
SAL-K1000FM	FRT1000	1	1000	1.25	100/200	0.36/0.18	36	29	高
SAL-K1250FM	FRT1250	1	1250	1.50	100/200	0.44/0.22	44	36	高
SAL-K1500FM	FRT1500	1	1500	1.65	100/200	0.51/0.25	51	44	高

● 周波数50/60Hz共用 ● 接続する電線は、電源ケーブルにはVVVF φ1.6またはφ2.0を使用し、調光信号線(総配線長100m)にはCPEV線φ0.9×1ペアまたはφ1.2×1ペアを使用してください。
● 端子台での電源送りはAC100Vで最大25灯、AC200Vで最大50灯以内とし、シームレスライン照明器具以外は接続しないでください。(550サイズは送りできません)

各部の名称と外形寸法



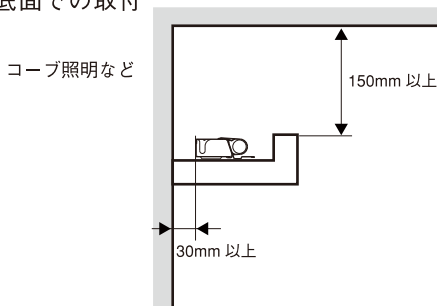
単位: mm
本体: 鋼板(白色塗装仕上げ)



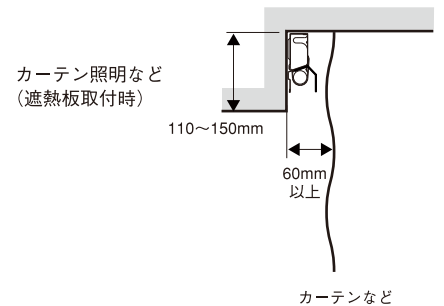
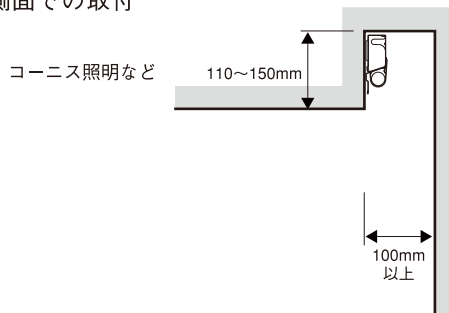
付属品:
プッシング1ヶ、
取付ねじ (3.8×38mmタッピング
ワッシャーヘッドねじ2ヶ)、
補助取付ねじ (3.5×20mmトラス
タッピングねじ2ヶ)

取付場所と必要最低寸法

①底面での取付



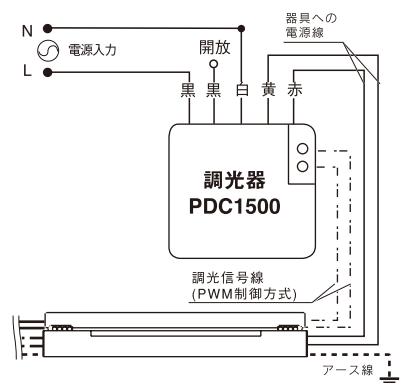
②側面での取付



推奨調光器と構成図

適合調光器	商品名	品番	連結使用可能灯数	
			100V	200V
推奨調光器	シームレスライン調光器	PDC1500	25灯まで	—
	ライトコントロール (信号線式)	ロータリ式: NQ21535Z、21585Z、21595Z スライド式: NQ21532Z、21582Z、21592Z	25灯まで	50灯まで
	ライトマネージャー	S型: NQ28641 / 28661+7-39NQL10021 L型: NQ27041 / 27061 / 27141 / 27161 +調光ボックス(インナーモジュール内蔵品)	50灯まで※1	50灯まで
	リビングライコン	3回路(蛍光灯1回路) NQ28737 5回路(マルチON-OFFタイプ) NQ28750 5回路(マルチ調光タイプ) NQ28751 / 28752 NQ28751 / 28752+ブースタNQL10021	1回路7灯まで※3 1回路3灯まで※3 1回路3灯まで※3	— — —
フル2線式リモコン	詳細につきましてはパナソニック電工株式会社のカタログをご参照、または次にお問い合わせください。大代表06-6908-1131	50灯まで※1	50灯まで	
ルーフトロン製	オールバックDVF-153P-JA 5/6 ※2		25灯まで	—
	ガラフックA (3000、QS) ※2	詳細につきましてはルーフトロンアスカ株式会社のカタログをご参照、または次にお問い合わせください。大代表tel.03-5575-8411	25灯まで	50灯まで
	LCP128 TVMモジュール PWM250モジュール		25灯まで	25灯まで 50灯まで
	調光盤 (JDP) TVMモジュール PWM250モジュール		25灯まで	25灯まで 50灯まで

結線図 (PDC1500)



※1 電源1系統は25灯まで。
※2 使用時にはインターフェース (GRX-PWM) が必要です。
※3 合計灯数は調光器メーカーの取扱説明書で指定した定格容量以下でご使用ください。
注) ライトコントロールのPC/Hf切替スイッチは「Hf側」にしてください。
注) 上記以外の調光器を使用する場合は、ご相談ください。
注) SAL-K550FMは器具間の電源・信号送りはできません。
注) 調光器の取扱説明書を必ず読んでください。調光範囲20~100%

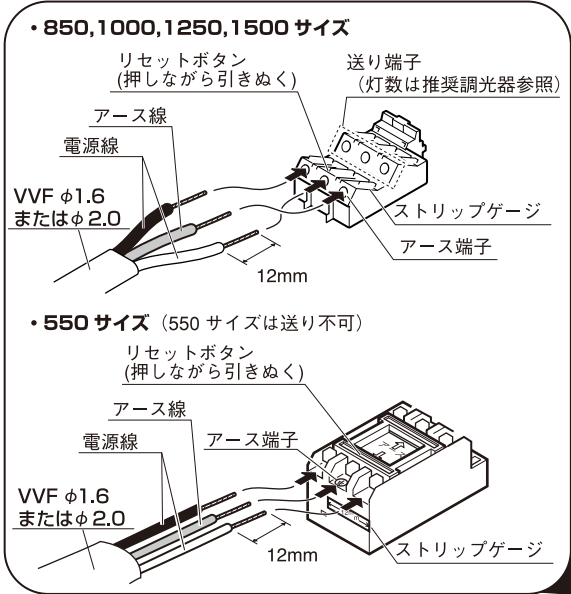
① SAL-K FM底面での取付方法

電源線と調光信号線は間違えないように結線してください。間違えて結線した場合、照明器具が一瞬で故障して調光ができなくなります。

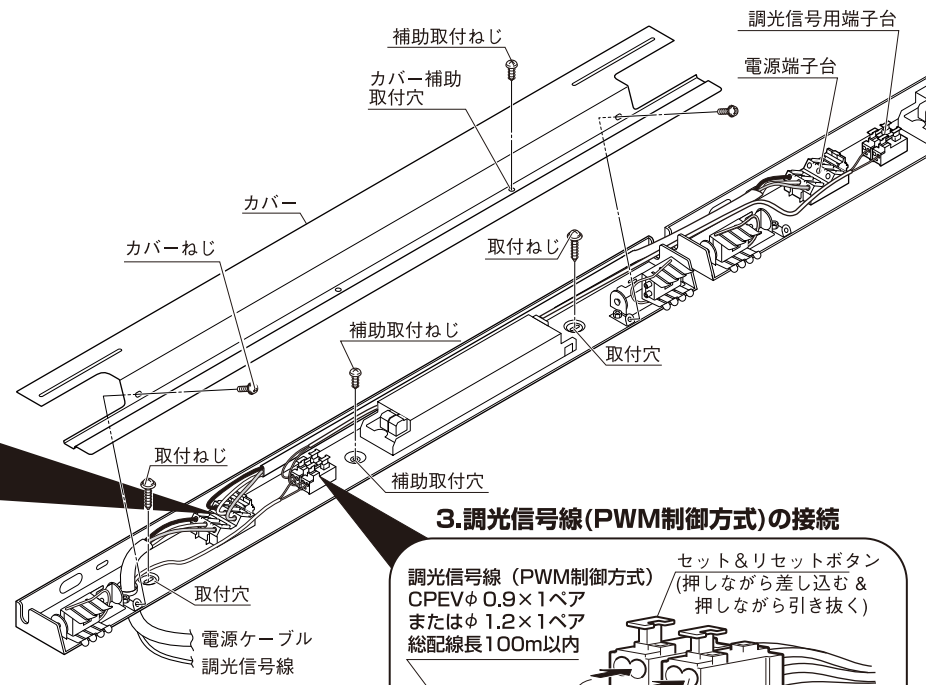
1. 器具の取り付け

- ・カバー両端のカバーねじをはずしてください。
- ・φ20ノックアウト電源取口(器具底面)に付属のブッシングを装着してください。
- ・平らな面に付属の取付ねじ(3.8 x 38 mmタッピングワッシャーヘッドねじ)で取付穴を利用して器具が歪まないように確実に固定してください。
- ※取付が弱い場合は補助取付ねじ(3.5 x 20 mmトラスタッピングねじ)で、補助取付穴やカバー補助取付穴を利用して固定ください。
- 注] 器具を並列に取り付ける場合は、器具間隔を50mm以上離してください。ランプがチラついたり、熱干渉によりランプの光束が落ちたり、安定器やランプの短寿命の原因となることがあります。

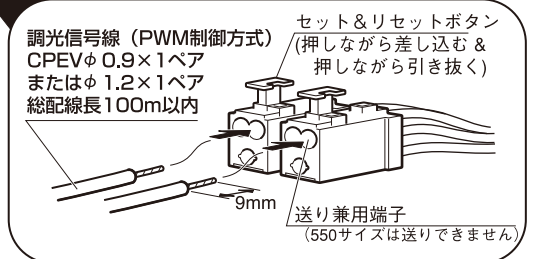
2. 電源ケーブルと電源送りの接続



注] 電源線、アース線は1本づつ接続の確認をしてください。
注] アース線と電源線を間違えて接続しないようにしてください。



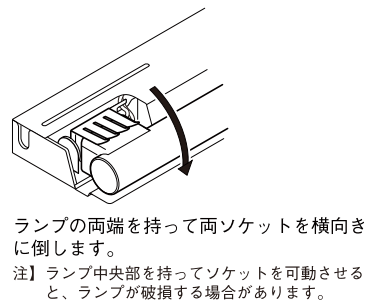
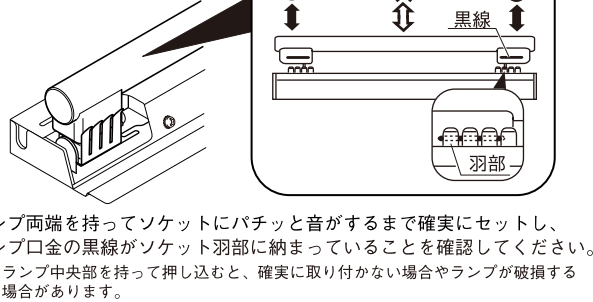
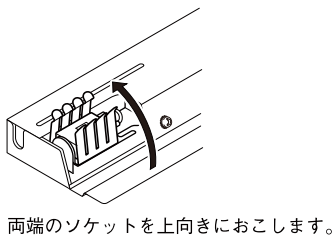
3. 調光信号線(PWM制御方式)の接続



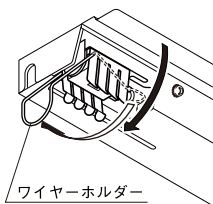
注] 調光信号線は1本づつ接続の確認をしてください。

4. ランプの装着

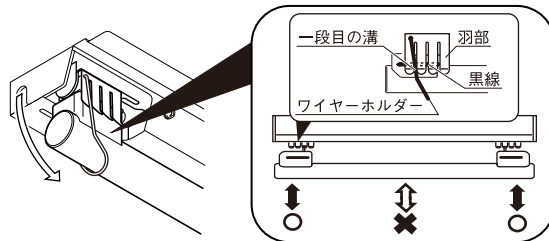
- ・カバーを閉じ、カバーねじを確実に締めてください。
- ・ランプ取り付けの際は、電源が切れていることを確認してください。
- ※ランプ取り外しの際も、必ず電源を切ってから、ランプ両端を持って外してください。
- 注] 点灯中や消灯直後は、ランプが熱いので手や肌などを触れないでください。ヤケドの原因となることがあります。



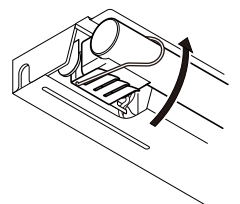
■据え置き取付以外



両端のソケットを下向きに倒し、ワイヤーホルダーをおこします。



ランプの両端を持ってソケットにパチッと音がするまで確実にセットし、ランプ口金の黒線がソケット羽部に納まっていることを確認してください。ワイヤーホルダーをソケットの一段目の溝に正しくセットしてください。



ランプの両端を持って両ソケットを横向きに押し上げます。

注] ランプ中央部を持ってソケットを可動させると、ランプが破損する場合があります。

5. 電源の供給

- ・全ての作業が完了したら電源を入れ、ランプが点灯・調光することを確認してください。
- ・シームレスライン照明器具は、ソフトスタートですので電源投入後点灯に数秒かかります。
- 注] 電源を数秒間隔で「入り」・「切り」させた時や、電源を入れた状態でランプ交換をおこなった時には、保護回路が作動し、ランプが点灯しないことがあります。この様な時には、いったん電源を切り10秒以上待って、再度電源を入れてください。

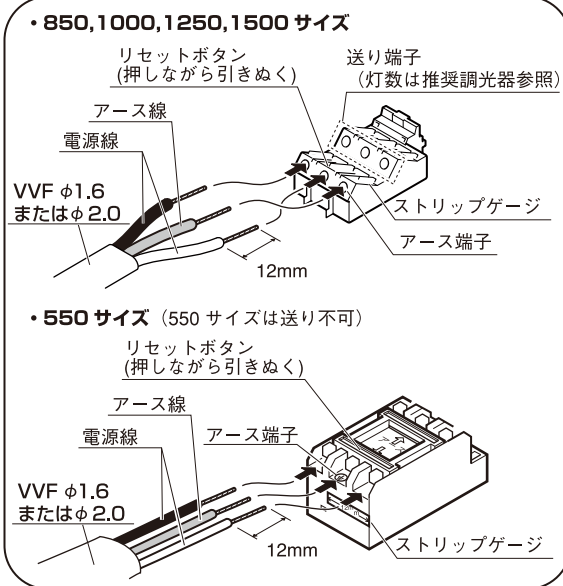
②SAL-K FM側面での取付方法

電源線と調光信号線は間違えないように結線してください。間違えて結線した場合、照明器具が一瞬で故障して調光ができなくなります。

1.器具の取り付け

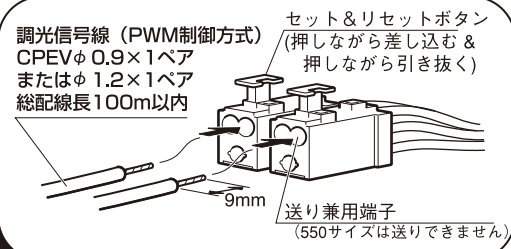
- ・カバー両端のカバーねじをはずしてください。
 - ・φ13×24ノックアウト電源取口(器具側面)に付属のブッシングを装着してください。
 - ・平らな面に付属の取付ねじ(3.8×38mmタッピングワッシャーヘッドねじ)で取付穴を利用して器具が歪まないように確実に固定してください。
- ※取付が弱い場合は補助取付ねじ(3.5×20mmトラスタッピングねじ)で、補助取付穴やカバー補助取付穴を利用して固定ください。
- 注] 器具を並列に取り付ける場合は、器具間隔を50mm以上離してください。ランプがチラついたり、熱干渉によりランプの光束が落ちたり、安定器やランプの短寿命の原因となることがあります。

2.電源ケーブルと電源送りの接続



注] 電源線、アース線は1本づつ接続の確認をしてください。
注] アース線と電源線を間違えて接続しないようにしてください。

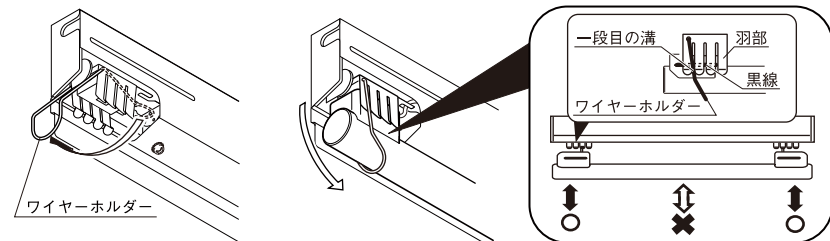
3.調光信号線(PWM制御方式)の接続



注] 調光信号線は1本づつ接続の確認をしてください。

4.ランプの装着

- ・カバーを閉じ、カバーねじを確実に締めてください。
 - ・ランプ取り付けの際は、電源が切れていることを確認してください。
- ※ランプ取り外しの際も、必ず電源を切ってから、ランプ両端を持って外してください。
- 注] 点灯中や消灯直後は、ランプが熱いので手や肌などを触れないでください。ヤケドの原因となることがあります。



ワイヤーホルダーをおこします。

ランプの両端を持ってソケットにパチッと音がするまで確実にセットし、ランプ口金の黒線がソケット羽部に納まっていることを確認してください。ワイヤーホルダーをソケットの一段目の溝に正しくセットしてください。

注] ランプ中央部を持って押し込むと、確実に取り付けられない場合やランプが破損する場合があります。

5.電源の供給

- ・全ての作業が完了したら電源を入れ、ランプが点灯・調光することを確認してください。
 - ・シームレスライン照明器具は、ソフトスタートですので電源投入後点灯に数秒かかります。
- 注] 電源を数秒間隔で「入り」-「切り」させた時や、電源を入れた状態でランプ交換をおこなった時には、保護回路が作動し、ランプが点灯しないことがあります。この様な時には、いったん電源を切り10秒以上待って、再度電源を入れてください。

遮熱板(別売カーテン照明用)の取付

4のランプの装着前に

- ・ワイヤーホルダーをおこします。
- ・カバーねじを、ねじ長さの半分くらいまで緩めます。
- ・遮熱板(別売)の取付切り欠き穴をカバーねじに引っ掛け遮熱板ごとカバーねじを締め付けます。
- ・遮熱板(別売)を取り付けた後ランプを装着してください。

